



中島 啓介 先生

略歴

1985年 九州歯科大学歯学部 卒業
1990年 東京医科歯科大学大学院 修了
1990年 東京医科歯科大学歯学部 助手
1997年 北海道医療大学歯学部 講師
1999年 北海道医療大学歯学部 助教授
2008年 九州歯科大学歯学部 准教授
2012年 九州歯科大学歯学部 教授

認定医申請のポイント

九州歯科大学 口腔機能学講座 歯周病学分野
中島 啓介

歯周炎は心臓血管疾患，呼吸器感染症，糖尿病，早産・低体重出産，骨粗鬆症などの全身疾患と関連していることが広く知られるようになってきました。特に，糖尿病患者との間には密接な相互作用があることから，糖尿病患者に対しては積極的な歯周治療が望まれます。このような観点から，平成28年度診療報酬改正から糖尿病患者に対しては歯周基本治療時に抗菌薬局所投与を併用することが可能となりました。

超高齢社会を迎え地域における包括的な医療・福祉のニーズが高まる中，歯周治療に関する情報の更新や高度な歯周治療技術の普及は益々，重要になっています。日本歯周病学会では，従来から歯周治療における専門的知識と技術を有する歯科医師を育成し国民の口腔保健の増進に貢献することを目的として専門医・指導医の資格を設けています。さらに，平成20年に「基本的な歯周病治療の知識と技量をマスターした上で試験に合格した歯周病学会会員を【認定医】とする」という認定医制度規則が承認されました（日歯周誌52巻2号，191-200，2010）。認定医の申請期間は1年に2回（6月下旬から7月上旬，1月中旬から下旬）で制度化から10年が経過しようとしています，未だに全国民の口腔保健増進に貢献するために十分な数の認定医・専門医を輩出できていません。

数の問題に加えて，地域偏在の問題も存在します。例えば，沖縄を含めた九州8県における人口10万人あたりの歯科医院数は，福岡（60）と沖縄（42）を除けば50前後で大差ありません。日本歯周病学会あるいは日本臨床歯周病学会の認定医・専門医が勤務する歯科医院を専門歯科医院とした場合，その数は県により大きく異なります。人口10万人あたりの専門歯科医院数は4県（福岡，長崎，熊本，鹿児島）では0.15-0.24ですが，他の4県（佐賀，大分，宮崎，沖縄）では0.04-0.06です。認定医・専門医でなくとも熱心に歯周治療に取り組んでいる先生は多いと思いますが，歯周治療を切望する患者にとっては学会認定の専門家が勤務する歯科医院を増やすことが必要なのではと考えます。

私は平成25年度から平成28年度まで認定医委員会に所属し，書類審査を担当させて頂きました。書類審査は通常，1日で行われるのですが，申請者数が多く100件近くになることもあります。審査委員は全員，指導医の資格をお持ちですが，審査で散見される問題は残念ながら単純なミスであることが多く，症例の本質的な内容に踏み込む時間が無くなることも少なくありません。今回の講演は，専門医の方々には申し訳ありませんが認定医申請に限定させて頂き，書類申請において散見されるミスについてお話しさせて頂きます。専門医・指導医の方々も，認定医を申請される後進の先生へのアドバイスの参考としてお聴き頂ければ幸いです。